

2010年度 IGES-EMECS-APN シンポジウム

気候変動と沿岸域管理

～ 適応策を考慮した沿岸域総合管理に向けて～

閉鎖性海域や沿岸域は、古来その自然的特徴や豊かな生態系により、人びとの活動の場となり、文化を育むなど人類に多大の恩恵をもたらせてきました。しかしながら、近年海面上昇や台風等の自然の力の増大など気候変動の影響が顕著になってきており、沿岸域はこれらの影響を最も受けやすい地域となっています。このため、気候変動に対する取組として、地方や国レベルから国際的にも、緩和策のみならず適応策の重要性が指摘され、その検討が進められています。また、アジア地域に代表されるように、沿岸域は人口の集中する地域であり、今後もその傾向は顕著になると見込まれています。

このような背景から、沿岸域管理は、環境、防災、利用等について沿岸の陸域、海域を一体的にとらえたものとして、また直接的な人為影響のみならず気候変動による影響も考慮していくことが必要と考えられることから、気候変動への適応策を考慮した沿岸域総合管理のあり方についてシンポジウムを開催することといたしました。多数の皆様方のご参加をお願いいたします。

日 時 平成22年10月8日(金) 13:30～16:30

会 場 よみうり神戸ホール(神戸市中央区栄町通 読売神戸ビル 裏面地図参照)

参加費 無料

募集定員 150名 (先着順)

プログラム

(1) 開会挨拶：井戸 敏三(兵庫県知事、(財)国際エメックスセンター理事長)

(2) 基調講演1 「気候変動に関する国際交渉の現状(仮)」

竹本 和彦(環境省参与、前環境省地球環境審議官)

基調講演2 「気候変動の影響と適応策に基づく沿岸域管理のあり方(仮)」

磯部 雅彦(東京大学 副学長)

(3) パネル・ディスカッション

コーディネーター：渡辺 正孝

(慶應義塾大学教授、国際エメックスセンター科学・政策委員長)

パネリスト：磯部 雅彦(東京大学 副学長)

松田 治(広島大学名誉教授、瀬戸内海研究会議会議長)

岡 二三生(人と防災未来センター上級研究員、京都大学教授)

田畑日出男(いであ株式会社代表取締役会長兼社長)

主 催 兵庫県、財団法人国際エメックスセンター(EMECS)、財団法人地球環境戦略研究機関(IGES)、アジア太平洋地球変動研究ネットワーク(APN)

共 催 公益財団法人ひょうご震災記念21世紀研究機構

後援(予定) 環境省、国連環境計画国際環境技術センター(UNEP-IETC)、公益財団法人地球環境センター(GEC)、財団法人ひょうご環境創造協会、社団法人瀬戸内海環境保全協会、瀬戸内海研究会議(順位不同)

参加申込 裏面の申込書により FAX(または、必要項目を記載した e-mail)で、お早めにお申し込みください。(定員を超えた場合は、入場をご遠慮いただく場合がありますが、ご了承願います。) 講演題目等は、都合により変更する場合があります。

IGES-EMECS-APN シンポジウム(10月8日開催)

「気候変動と沿岸域管理」 参加申込書

(ふりがな) お名前	ご所属	連絡先(電子メールまたはFAX)
ふりがな()		
ふりがな()		
ふりがな()		

注:記入いただいた個人情報は、この行事の管理に使用いたします。

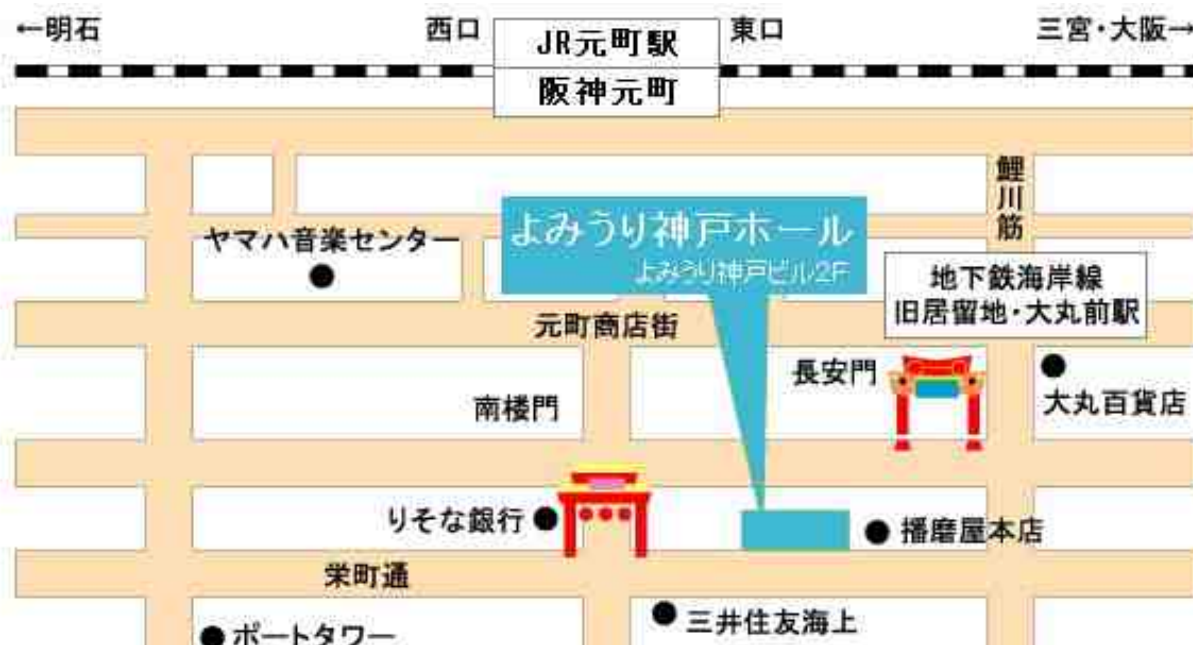
今後、国際エメックスセンター、地球環境戦略研究機関、アジア太平洋地球変動研究ネットワークが開催するイベント等
のご案内をさせていただく場合がございます。

**送付先: FAX で 078-252-0404 または、
電子メールで 上記内容をご明記の上 staff@emecs.or.jp
にお早めにお申し込み下さい。**

問い合わせ先

財団法人国際エメックスセンター 担当: 石原、山田

tel 078-252-0234 fax 078-252-0404 e-mail staff@emecs.or.jp



よみうり神戸ホール
〒650-0023 神戸市中央区栄町通 1-2-10
読売神戸ビル2階

交通アクセス
JR・阪神 = 元町駅、徒歩約3分
神戸市営地下鉄 = みなと元町駅、徒歩約2分